

# 「うえだ <sup>おこ</sup>ひと・もの興しの<sup>つむ</sup>紡ぎ手」 表彰のご案内

ものづくり技能・技術を尊重する気運を高めることや従業員のモチベーションアップによる更なる企業経営の発展を目的に、各社の経営に貢献度の高い人、方々を表彰いたします。

**多くの企業の皆様のご応募をお待ちします！**

## 【要 綱】

### (1)表彰対象部門

#### ものづくり部門

(技術・スキル)



- 新商品・サービス・部品・素材などの開発をした人・グループ
- 熟練した技術あるいは模範的技能を有し、所属する企業などにおいて一目置かれている人・グループ

#### しくみづくり部門

(管理・運営)



- 経営戦略・生産管理・品質管理・環境保全など、会社の「しくみづくり」において、際立つ貢献、提案などをした人・グループ

#### げんきづくり部門

(社風づくり・風土改善・モチベーションアップ)



- 社内の前向きな空気づくり、明るい職場づくりなど、会社の「げんきづくり」に大きく貢献している人・グループ  
例) 元気なあいさつ、前向きな姿勢、省エネ活動、緑化運動、5S活動、食育など

※具体的な事例については、裏面の「過去3年の受賞例」をご参照ください。

### (2)表彰者の基準

- ① 上田商工会議所 工業部会の正社員・パート従業員であること。
- ② 部門ごとに、原則 1社1名または1グループ。
- ③ 他の制度にて表彰を受けていない案件であること。

### (3)推薦を行うことができる方

- ・ 上田商工会議所 工業部会代表者、それに準ずる方とします。

### (4)推薦の方法

- ・ 添付の推薦理由書を作成の上、提出してください。  
(上田商工会議所ホームページからダウンロードできます。)

### (5)被表彰者の決定

- ・ 選考委員会による厳正な審査の上、被表彰者を決定し、9月下旬に推薦者に通知します。

### (6)表彰状・記念品・賞金

- ・ 各部門において、大賞(1名または1グループ) 表彰楯・賞金 10万円

### (7)表彰式

令和元年10月25日(金)「上田地域産業展 2019」会場中央特設ステージにて被表彰者プレゼンテーション(ごく簡単なもの)と表彰授与式を執り行います。



平成30年度 表彰授与式風景

## 【過去3年の受賞例】

### 1. 「ものづくり」部門大賞

|     |   |   |   |
|-----|---|---|---|
| テーマ | 「Φ90mm フィードライナー、アンダーカット工程の自動化」  | 「航空無線機用アルミ溶接技術」   | 「古来よりの技法を生かして発展させた」   |
| 企業名 | 株式会社三葉製作所   | 株式会社カワベ工業   | 株式会社清蘭堂   |
| 概要  | 汎用機械でしかできないと考えていた加工に対し、工程改善に取り組み、自動化に成功。人が介在する加工時間で3時間以上の削減を達成。仕上がり面も汎用機よりもきれいに仕上がり、最終手仕上げ時間の短縮も実現した。<br>この改善により、他の加工品の工程改善や治工具しにも応用している。 | 航空機の飛行高度差での結露により起きる機能障害を防ぐための航空機用無線機ケースのアルミ溶接技術。<br>内部機器装着後は、真空状態を保てるよう完全な気密性が求められるため、最高度の溶接技術が要求される。 | 勤続40数年の表具経師。現代における経師の技能を余すことなく発揮させた事例として、奈良・薬師寺の食堂障壁画がある（NHKで放映）。<br>他に施工例として、比叡山延暦寺の屏風絵、福井永平寺の襖絵、京都智積院の襖絵が挙げられる。 |

### 2. 「しくみづくり」部門大賞

|     |   |   |  |
|-----|---|---|--|
| テーマ | 「技能継承の受け皿づくりを成し遂げた若きリーダー」   | 「環境保全活動（アレチウリの駆除）」  | 「生産実績を可視化内製化システムの開発」   |
| 企業名 | ミヤジマ技研株式会社  | 上田日本無線株式会社  | 信州ハム株式会社   |
| 概要  | ベテラン職人の退職により、溶接グループ存続の危機が発生。それに対し、残った31歳の溶接グループ係長がメンバーを地道に育成し、若手中心の技術継承ができる溶接グループへと復活・変貌させた。<br>全社的にも若手役職者が増加するなか、技能継承への体制づくりに貢献している。 | 会社南側の急傾斜崩壊対策工事地はじめ約2,000平方メートルのアレチウリの駆除を2013年から年に2～3回実施。地元からも感謝されている。 | タブレット端末を用いた生産管理システムを約半年間という短期間で開発。<br>システム設計から開発、導入まで一貫して内製化し外注コストを削減。現場のリアルタイムな進捗状況の可視化を実現。 |

### 3. 「げんきづくり」部門大賞

|     |  |  |  |
|-----|--|--|--|
| テーマ | 「社員の栄養・健康管理と女性の働き方改革に向けた第一歩」   | 「人との和を重んじ社員全員を繋ぎ隔々まで行き渡る若き血液」  | 「グローバルに活躍するリーディングウーマン」   |
| 企業名 | 上田日本無線株式会社   | 有限会社春原工業所  | オルガン針株式会社  |
| 概要  | 51年間にわたり、栄養士・調理師を含め、すべて自社女性社員のみで社員食堂を運営。メニュー充実や栄養管理も図り、食品衛生・安全面・環境面などにも注意を払うことで無事故を継続し、会社の健康維持に大きく貢献。女性社員の働き方に変化をもたらし、社内のダイバーシティの先駆となっている。 | 「AROUND30」と名付けた30歳前後の社員3名。<br>1名は品質向上を担う中心的存在。1名は社員全員を繋ぐパイプ役。もう1名は問題解決に率先して取り組む。<br>以上の3名は、人材の育成と知識や技術の継承で会社経営に際立つ貢献をしている。 | メリヤス針事業において中国市場は開拓不十分な地域だった。そこで彼女は女性社員初の海外赴任者として自らの耳と足でニット工場を探し情報収集と交渉を重ね福建省や広東省に販売代理店を設置し、販売網を拡大。<br>当社と中国市場の架け橋になった功績は大きい。 |

#### ～うえだ ひと・もの興しの紡ぎ手 ネーミングの由来と表彰設置の思い～ 蚕都上田を興す（はじめる、新たに生じさせる、盛んにする）・紡ぐ

当社は江戸時代から蚕糸業が盛んでありました。明治期、我が国の主要輸出品として生糸が取扱われ、桑・蚕の品種改良や生産力向上の努力がなされてきました。それは、現代の創意工夫・品質管理に通じるものがあります。繭玉から生糸を紡ぐように、上田の企業で働く方々の持つ素晴らしい力をよりあわせ、丈夫な生糸のように途切れることなく、ものづくり技術を永く後世に伝え、企業発展につなげていければと願い、この表彰を設置いたしました。

技術や技能、売上貢献への活動は元より、企業活動のベーシックな部分で陰日なたく企業を支え続けてくれる従業員の方を表彰することで、自社だけでなく他社の皆さんにもその活動を広く知っていただき、これがそれぞれの企業の発展の一助となるよう願っております。

令和元年7月 上田商工会議所 工業部会